

第6回東アジア地域包括的経済連携（RCEP）
中間閣僚会合
2018年10月13日 シンガポール

共同メディア声明（仮訳）

1. RCEPに参加している16か国の閣僚は、2018年10月13日にシンガポールで開催された第6回RCEP中間閣僚会合に出席した。閣僚は、2018年8月30日から31日までシンガポールで開催された第6回RCEP閣僚会合からの進展、特に、2018年9月に交渉会合の間に開催された様々な作業部会及び小作業部会並びに2018年10月6日から9日にジャカルタで開催された市場アクセスに関するRCEP特別貿易交渉委員会（TNC）の成果について検証した。
2. 閣僚は、市場アクセス交渉の強化を歓迎した。閣僚は、懸隔が一定程度縮まったことを評価する一方で、更なる改善の必要性を強調した。閣僚は、ルールに関する他の章の交渉の進捗に留意するとともに、全てのRCEP交渉参加国が年末の成果パッケージの各目標の達成のために引き続き最大限努力をするよう促した。閣僚は、貿易交渉委員会から上げられた個別の論点についてガイダンスを与えた。
3. 閣僚は、交渉を実質的に妥結させることへの決意を再確認するとともに、特に国際貿易において不確実性があるこの時期において、年末までにパッケージを完了させることが重要な試金石であることを再度強調した。閣僚は、RCEP交渉が最終局面に差し掛かる中、あらゆる困難や課題を克服するべく、協働することに合意した。
4. 閣僚は、2018年11月の第2回RCEP首脳会議に先立ち、RCEP準備閣僚会合で会うことに合意した。